

SP コード作成ガイド

Copyright© KOSAIDO.CO.,LTD.

2002 All rights reserved.

目次

1. テキストの入力
2. SP コード作成
3. レイアウト調整
4. プリントアウト
5. スピーチオでの読み上げテスト
6. 単語の読み上げを変更する
7. 仕上げ
8. 完成
9. 注意事項

~~~~~

### 1. テキストの入力

SP Code Maker ~one click edition~のインストールされた PC で Microsoft(R) Word を起動して、SP コードに変換する文章を入力します。この際、以下の項目を確認しながら文章を入力してください。

#### 文章の区切りについて

スピーチオでは文章送りボタンの操作によって、文単位の送りが可能です。この際に文末として認識される文字は下表のとおりです。

| 全角文字  | 半角文字  | その他 |
|-------|-------|-----|
| 句点 。  | 句点 。  | 改行  |
| 疑問符 ？ | 疑問符 ？ |     |
| 感嘆符 ！ | 感嘆符 ！ |     |

#### スペース (およびタブ) ・読点について

スペース (およびタブ) と読点「、」は読みの間隔をあけるのみで、文単位の送りとは関係はありません。また、これらを連続して入力しても、スピーチオでは1つ分として処理され、読みの間隔は長くなりません。

## 表について

表の読上げは下記の順番で読上げられます。なお、セルの区切りは、文章の区切りとして処理されます。

|   |   |   |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |
| ④ | ⑤ | ⑥ |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ |

## 2. SP コード作成

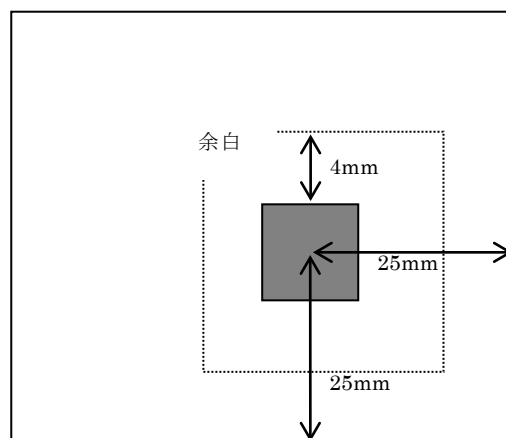
ツールバー右上に、SP コード作成ボタンがあります(青:男声、ピンク:女声の設定)。文章を入力後、SP コード作成ボタンをクリックします。SP コードが自動的に作成されます。念のため、この時点でファイルを一度保存してください。

※ ツールバーに SP コード作成ボタンが表示されない場合

- ① 各ファイルが所定の位置にあることを確認します。
- ② Word の「ツール」メニューから、「ユーザー設定...」を選択します。
- ③ 表示される「ユーザー設定」ウィンドウ内の、「ツールバー」タブを選択します。
- ④ 一覧にある「Speechio」のチェックボックスをチェックします。
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押します。

## 3. レイアウト調整

SP コードの周囲 4mm はテキストや文章等がかからないように、レイアウトを修正してください。コードと余白内に、文字や汚れがあると、コードが読み取れない場合があります。



#### 4. プリントアウト

レーザープリンタ（600dpi 以上推奨）で出力します。

#### 5. スピーチオでの読み上げテスト

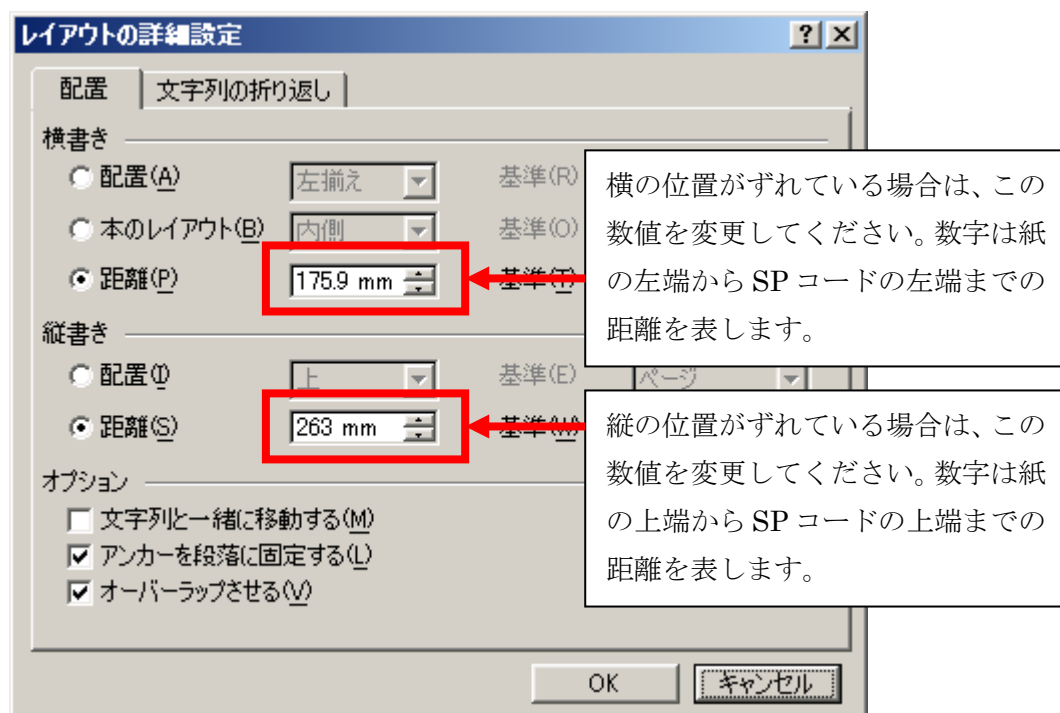
出力した SP コードをスピーチオで読み取ります。スピーチオの読み上げ内容を聞きながら、プリントアウトした紙に、間違っって読まれる個所をマークします。

### **【注意】 SP コードの印刷位置について**

スピーチオの読み取りエラーの原因として、SP コードが正しい位置に印刷されていない可能性があります。本ソフトでは、スピーチオで正しく読み取るために、SP コードの中心位置が、紙の右端・下端から、それぞれ 25mm になるように設定されています。しかし、プリンタの特性により、上記の位置とずれて出力される場合があります。読み取りエラーが頻繁に起こる場合は、以下の手順に従い、正しい位置に印刷されるように調整を行ってください。

### **【手順】**

- ①SP コードを選択し、右クリックします。
- ②『図の書式設定...』を選択します。
- ③表示される『図の書式設定』ダイアログの『レイアウト』タブを選択します。
- ④『詳細設定...』ボタンを押します。
- ⑤表示される『レイアウトの詳細設定』ダイアログの、『配置』タブを選択します。
- ⑥縦書き、横書きそれぞれの『距離』の数値を、出力時の位置を参考にして変更してください（下図参照）。



## 6. 単語の読み上げを変更する

Word のテキストを変更します。マークを入れた個所を、正確に読み上げるよう調整します。調整するには、下記 3 つの方法があります。

(調整例)

| 入力テキスト | スピーチオの読み | 修正方法                                                                 | 修正                    |
|--------|----------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 廣濟堂    | こうずみどう   | 1. 別の単語に置換                                                           | 交際堂 など                |
|        |          | 2. かな（またはカタカナ）に変換                                                    | こうさいどう<br>(またはコウサイドウ) |
|        |          | 3. 読みの指定<br>(単語:ヨミ)と修正。<br>単語…読みを指定したい単語<br>ヨミ…単語の読み方<br>※括弧とコロンは半角。 | (廣濟堂:コウサイドウ)          |

修正終了後、読み間違いがなくなるまで、3~5を繰り返します。正確に SP コードを読むようになったら、その時点で、データを一度保存します。

## 7. 仕上げ

読上げ用に修正したテキストを元に戻します。

(例) コウサイドウ → 廣濟堂

このとき、既に作成された SP コードを誤って削除や移動・サイズの変更等をしないように注意します。

## 8. 完成

墨字でも、音声でも読み上げられる SP コード入りの媒体の完成です。

## 9. 注意事項

- ページの先頭には図や表を作成しないで下さい。  
ページの先頭に図や表があると、SP コードが所定の位置からずれて配置される可能性があります。
- SP コード作成時に文字数がオーバーしましたというメッセージが出た場合は、指示に従って、文章を修正してください。
- 文末として認識される文字の中で、半角文字を連続して入力しないで下さい。  
Word 上で文章の区切りとして認識されない場合があります。  
例) !。
- 箇条書きの文頭に自動的に作成される段落番号や行頭文字は認識されません。